

日本大学大学院総合社会情報研究科

GSSC 同窓会



<目次>

1. 会長挨拶
2. 組織について
 - a. 沿革
 - b. 役員紹介
 - c. 同窓会会員
3. 活動について
 - a. 2013年 GSSC 同窓会活動方針
 - b. 年間行事およびプロジェクト紹介
 - i. 春の学習相談
 - ii. 同窓会（修了祝賀会）
 - iii. ミニ同窓会（スクーリング）
 - iv. オープン大学院 懇親会・同窓会
 - v. 震災復興支援
 - vi. いわき通信
 - vii. 入学資料配布プロジェクト
 - c. 修了生情報データベース
 - d. サポートーズ・バンク
 - e. 年間スケジュール
4. GSSC 同窓会 HP
5. 窓口

会長挨拶

1999年4月、本研究科は日本初の通信制大学院としてスタート、2003年4月の博士後期課程開設を経て、今日まで多くの修了生を輩出しています。

本研究科での学びは、単なる専門知識の習得や学位取得目的にとどまらない人間関係や交流にこそ、その意義を見出した修了生の方も沢山いらっしゃると思います。パソコンとインターネットをフルに活用した本研究科独自のシステムによる指導体制のもと、指導教授や仲間とのコミュニケーションの中から様々な学びを得ました。また、所属するゼミだけでなく専攻の枠を超えた大学院全体の連帯感が、学びを実務で生かす課程で大きな役割を果たしてきました。

GSSC 同窓会は、研究科修了生の生涯教育継続支援と交流ネットワーク作り、および、これを基盤としての研究科の教育・研究力の向上を目的としております

多くの修了生の皆様をご参加下さいますことを願っています。

日本大学大学院総合社会情報研究科同窓会
会長 柳澤 泉

2. 組織について

a. 沿革

2013年3月25日

日本大学大学院総合社会情報研究科同窓会設立

b. 2013年度役員紹介

会長 柳澤 泉 (国際情報)

副会長 先浦 宏紀 (国際情報)

監事 橋本 浩介 (国際情報)

幹事

(修了生・在校生) 大塚 奈奈絵 (文化情報)

黒澤 敏浩 (国際情報)

町田 佳子 (国際情報)

宮澤 由江 (文化情報)

幹事 (教員)

階戸照雄 研究科長

池上清子 国際情報専攻主任

松岡直美 文化情報専攻主任

田中堅一郎 人間科学専攻主任

眞邊一近 博士後期課程主任

荒関仁志 人間科学専攻・システム管理

泉龍太郎 人間科学専攻

幹事 (職員)

高井智章

加藤琢哉

c. 同窓会会員

本会の会員は、本会の目的に賛同し、本大学院を修了した者、本大学院に入学したことのある者、教職員で構成されます。

3. 活動について

GSSC同窓会は研究科修了生の生涯教育継続支援と交流ネットワーク

ク作り、およびこれを基盤としての研究科の教育・研究力の向上を目的としております。

a. 2013年GSSC同窓会活動方針

同窓会基盤作り

b. 年間行事およびプロジェクト紹介

i. 春の学習相談

新入生へのレポート作成や研究の進め方、履修、修論についてのアドバイスや質問・疑問に答え、大学院を有意義に過ごして頂くための支援をするために開催します。

ii. 同窓会（修了祝賀会）

毎年3月25日に行われる日本大学卒業式・学位伝達式後の修了祝賀会と同時開催致します。

iii. ミニ同窓会（7月20日(日)）

毎年、スクーリング（夏期・冬期）の期間中に開催致します。

iv. オープン大学院 懇親会・同窓会

毎年10月に開催されるオープン大学院では、各専攻の修了生および在校生による研究発表等が行われます。大学院進学相談会に加え、懇親会に合わせて、同窓会を開催します。

v. 震災復興支援

「震災復興支援 in FUKUSHIMA -いわきの子供たちに本を送る-プロジェクト」では、2012—13年度には1,700冊を送りました。これらの本は、いわき市の子供達によって、市内総合病院・医院・調剤薬局へ配布されました。

vi. いわき通信（同窓会 HP 参照）

いわき市在住の文化情報12期生の吉田裕美さんから同窓会に送られた、被災地の現状を伝えるメールです。

vii. 入学資料配布プロジェクト

日本大学通信教育部の夏期スクーリングにおいて入学案内および修了生体験記等を配布します。

c. 修了生情報データベース

同窓会設立準備委員会または設立後の同窓会から、同窓生の皆様へイベントのお知らせや各種案内を配信するため、皆様の連絡先メールアドレスを登録するためのデータベースです。

d. サポーターズ・バンク

サポーターズ・バンクは、主に同窓会で企画したプロジェクトをお手伝いして頂ける方のリストです。各種プロジェクトを実施するには、同窓会役員だけでは手が足りませんので、皆様の支援を必要としています。

皆様に積極的にプロジェクトへ参加して頂くことで、同窓生や在学生との交流を深めてネットワークを拡大すること、また、各種プロジェクトを通して皆様の研究や研究力の発展につなげることを目的としています。

e. 2013年度 年間スケジュール

4月13日(土)	第一回 春の学習相談(パソコン講習)
5月25日(土)	第二回 春の学習相談(博士後期課程中間発表)
7月20日(土)	ミニ同窓会(夏期スクーリング第2日目)
8月 9日(金) 16日(金)	資料配布プロジェクト (日大通信教育部 夏期スクーリング)
10月19日(土)	ミニ同窓会(オープン大学院)

11月23日(土)	ミニ同窓会(冬期スクーリング第2日目)
3月25日(火)	同窓会(修了祝賀会)

* 日程は都合で変更になる場合がございますので予めご了承ください。

4. GSSC 同窓会 HP

http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~gssc_alumni/

HPへの情報掲載・投稿をご希望の方は、下記同窓会窓口まで掲載内容を添付の上、ご連絡ください。

件名：【情報掲載希望： 修了生・在校生 または 教職員】
修了生・在校生の方は宮澤由江（同窓会HP編集長）宛てに、
教職員の方は松岡直美(文化情報専攻教員)宛てにお送り下さい。

5. 同窓会窓口

E-mail : gssc.alumni@nihon-u.ac.jp

年末年始は窓口をお休みさせていただきます。また、即日返信できない場合もありますので、ご了承ください。

付録1 「春の学習相談 配布資料」 (作成:大塚奈奈絵 20130518)

1. 図書を探す

1. 1 図書館サービスの利用

(1) 国立国会図書館

○国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>

・82個のデータベースから収集した約7300万件の文献情報等を検索。

123個のデータベースを横断検索。

・目次情報や資料の本文全文を対象とした検索が可能。

・近日中に刊行される図書(近刊図書)の検索が可能。

・非ローマ字資料について、外国語の読みで検索をすることが可能。

多言語対応・翻訳機能、再検索・絞り込み機能等がある。

○NDL-OPAC <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

・国立国会図書館サーチの対象

・利用者登録を行えば、複写等が申し込める

・NDL-OPAC独自の検索機能もある。

(2) 国立情報学研究所

NACSIS-CAT/ILL <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

大学図書館の総合目録・相互貸借システム

→ ○CiNii Books <http://ci.nii.ac.jp/books/>

・国立情報学研究所が運用する目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)に蓄積されてきた全国の大学図書館等約1200館が所蔵する、約1,000万件(のべ1億冊以上)の本の情報や、約150万件の著者の情報を検索することができる。

→ ○Webcat Plus <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

・連想検索

・目次情報や書影がある

(3) その他の目録・書誌情報

○国立国会図書館総合目録ネットワーク事業(都道府県立・市立図書

館等の蔵書検索)

←NDLサーチ

○全国の図書館の蔵書検索カーリル <http://calil.jp/>

○日本古典籍総合目録 (『国書総目録』(岩波書店刊)の継承・発展)
<http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/about.html>

○全国漢籍データベース <http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki>

2013年3月現在：目録71機関845319レコード

画像3機関14516枚

○World Cat <http://www.worldcat.org/>

世界中の図書館の蔵書検索(15億件以上)

1. 2 出版情報の利用

(1) オンライン書店…総合系、書店系、出版流通系

(2) その他

○Books.or.jp ← 『日本書籍総目録』 <http://www.books.or.jp/>

○日本の古本屋 <http://www.kosho.or.jp/servlet/top>

1. 3 各種書誌の利用

(1) 一次書誌…全国書誌、販売書誌

(2) 二次書誌…選択書誌、主題書誌、翻訳書誌、官庁出版物書誌

1. 4 電子図書館サービスの利用

*目次情報や雑誌の記事単位の検索が可能

(1) 図書館による電子コレクション

○国立国会図書館デジタル化資料 <http://dl.ndl.go.jp/>

○各図書館の貴重書コレクション

例：東京大学附属図書館

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/koho/guide/coll/>

(2) その他のWebサイト

- 青空文庫 <http://www.aozora.gr.jp/>
- Google ブックス <http://books.google.co.jp/>

2. 雑誌記事・論文を探す

2. 1 雑誌論文 (学術情報) を探す

- (1)国立情報学研究所 <http://www.nii.ac.jp/>
- CiNii Articles <http://ci.nii.ac.jp/>
論文や図書・雑誌などの学術情報を検索できる
- Webcat Plus <http://webcatplus.nii.ac.jp/>
- KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
<http://kaken.nii.ac.jp/>
- NII-DBR (学術研究データベース・リポジトリ)
https://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta_pub/G9200001CROSS
- JAIRO (学術機関リポジトリ・ポータル) <http://jairo.nii.ac.jp/>

2. 2 その他 (総合)

- NDL-OPAC <https://ndlopac.ndl.go.jp/>
「雑誌記事索引採録誌一覧」やRSSサービス有
- 大宅壮一文庫雑誌記事索引 (有料) <http://www.oya-bunko.or.jp/>
冊子体『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』(1985)、追補版や
CD-ROM 有
- magazineplus 日外アソシエーツ (有料)
<http://www.nichigai.co.jp/database/mag-plus.html>

2. 3 その他主題分野別データベース等

- 判例、医学分野等、有料データベース多数有
無料例：国文学研究資料館 <http://www.nijl.ac.jp/>
BIBLIS 図書館情報学文献目録
http://www.jslis.jp/biblis_1.html

○引用文献索引

抄録誌 例：Jdream III（有料）

○図書館作成書誌

例：岩手県立図書館郷土関係雑誌目次集検索

<http://www.library.pref.iwate.jp/books/kyoudo/index.html>

3. 逐次刊行物を探す

3. 1 逐次刊行物のリスト

○『雑誌新聞総カタログ』 1979年版 メディア・リサーチ・センター（年刊）

○*Ulrich's periodicals directory* Proquest 1932-

（年刊） 世界中の逐次刊行物を収録。有料 Web 有

3. 2 図書館目録

○NDL-OPAC <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

○CiNii Books <http://ci.nii.ac.jp/books/>

3. 3 電子ジャーナルの利用

無料の場合 例：J-STAGE

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

付録2

「春の学習相談」報告 『日本大学 FD NEWSLETTER』（第4号）掲載予定 2013年9月

「総合社会情報研究科（GSSC）における学習支援と指導改善に向けての取組み」

社会人のための通信制大学院であるGSSCでは、修了生、在校生を問わず、学生が研究科の活動に主体的かつ専門的に関わることが常態。今年度は学生有志が新生支援として、2回の学習相談を企画し、これに教職員が参加することで「教員・職員・学生による三位一体のFD活動」を試み、情報共有による指導改善の方向性を確認しました。

学習相談第1回は新生生の不安や疑問を早期に解決し、早い段階でレポートや修論に集中できるようにと、4月の所沢校舎でのパソコン研修に合わせて開催。第2回は5月、日本大学会館での博士後期課程研究発表会に続けての、教員、修了生、在校生による三者鼎談。2回の学習相談から見えてきたのは、学生が求めているのは様々な情報であるという単純な事実。レポートはどう作成するのか、教材や資料はどの範囲まで入手し、読むべきなのか、先行研究の検索はどうするのか、教員とどう意思疎通を図るのか、等々。相談会当日は、こうした基本的な質問に教員や図書館司書の修了生らが経験知と専門情報によって丁寧に回答し、新生生の不安が解消されただけでなく、相談員として参加した2年生にとっても、修士論文作成に直接役立つ情報を得る機会となりました。

課題はこうした情報をどう共有し、今回のような学習支援と指導を「通信制」でどう実現するか。GSSCは国際情報、文化情報、人間科学の3専攻を擁し、研究対象も方法も様々ですが、教育理念は総合性・学際性。日本初の通信制大学院としての開設から14年。これまで専攻やゼミごとに蓄積されたノウハウや人的ネットワークの「クラウド化」が進むべき方向であると思われます。決して「雲をつかむような話」ではなく、既にポートフォリオの概念を具体化したレポート提出システムがネット上にあり、研究科HPはもちろんのこと、GSSC同窓会のHPとDBも作成されていますから、学習支援や研究指導についての情報を集約・共有し、学生および教職員が随時アクセスして更新・同期化する環境は整いつつあります。まずは、デジタル・アーカイブの構築に向け、検討を始めています。

国際情報専攻12期生 西山友紀子(学習相談プロジェクト・リーダー)

総合社会情報研究科教授 松岡直美